

アクアライン、館山道が大渋滞させた大群集は何処へ行ったのだろうか？

48 万人と予想された木更津の潮干狩りのお客様、富津海岸 10 数万の人々は、木更津の街は全く素通りしていったとしか思えない。

大型店を誘致すれば客が市内へと回遊するという説は全く実証できませんでした。

カーナビ旅行、目的地のみで回遊しない現代気質を見たような思いでした。

現代の若者の旅とは、観光プロたちによってプロデュースされていて、インターネットやカーナビの映像に誘導されて行動し、方向変換はしない傾向が見られました。

大型観光地として歴史の浅い房総へ訪れる 3 千万人と予想される観光客から、大渋滞で不満の出ない様に田舎道、廻り道へも誘導して、神社仏閣、伝統の村落、石碑、石仏、34 の滝、12 本の小櫃、小糸川の本支流、川沿いの原、堰堤、収穫祭を案内したり、今人気の農家レストラン、百姓茶屋、縁側カフェ等、田舎の文化を楽しんでいただく企画も必要です。

館山市内は大渋滞で市内の商店は商売にならなかったとか？

最近君津駅周辺の飲食店に見知らぬ客が多くなっております。

訪ねてみますと、ビジネスホテルのお客様で「グルメガイド」を見て来たと言う人達でありました。

「グルメガイド」の効果は大です。

金田海岸へは全く人は来なかったと金田の方達は不満顔でしたが、富津海岸へ行ってみますと潮干狩り凡そ 10 数万人？公園通りは大賑わいでしたが、下洲海岸はサーフィンを楽しむ若者たちだけ、路地裏に私がたまに行く鮎屋があります。

この店は大通り沿いにユニークな赤い字で大書したヘンテコな寿司屋の大看板を立てておりますが、中々わかりにくい裏通りの店です。

この店のメニューは富津海岸の貝づくし「青柳、赤貝、とり貝、みる貝、平貝、あさり、はまぐり、穴子」がケース内の主役。マグロは隅の方と言うまさに「富津ブランド」のお店です。あのユニークな大看板が客の心をとらえるのか、潮干狩りの客が連日押し掛けて、板長は全く疲労困敗の態でありました。木更津富津海岸へ押し寄せる潮干狩り客を回遊させる方法は無い訳ではありません。

久留里の川に近い横道を入ったところに「藤美そば」があります。老夫婦が、「店もそばも手作りです」と全く東屋風のそば屋さんですが、「インターネットへ乗せてくれてますので客はポツポツですがきれません」と亭主は泰然たるものでした。

それにしても 5 月 17 日、日曜日の久留里の街は、ほとんどのお店が休業でした。

河内屋ギャラリーの白熊画伯展に常滑から来られた女性たちが「せっかくの日曜日で、観光で来たのにこの街はお休みですか？」とぼやかれました。

そういえばGW中に帰省した孫達と清和のラーメン屋を訪ねましたが「暖簾」が外されておりました。

今年の三社祭り観音、伝通院、奥山通は大群衆なものでしたが、表通りと裏通りの差が大きすぎます。それは客の好みだから仕方ないとあきらめるのか、裏通りでも浅草大黒屋には何十人もの人達が並んでいましたから・・・。

私達商人は、商機到来を逃す事は商人の恥と思ひ、客を引き寄せる根気と知恵、努力を怠ればお客様は見逃してくれません。

